



DEEBOT *mini* Family
取扱説明書/Instruction Manual

安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、取扱説明書を必ずお読みください

本取扱説明書は大切に保管してください

1. 本製品は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いることを意図していません。
2. お子様の本製品を使って遊ばないようにご注意ください。
3. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテーブルクロスなどは床から持ち上げてください。
4. 掃除する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。段差に置いた囲いにつまづかないように注意してください。

5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品は、屋外使用、商業または産業用途での使用を想定していません。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境(-5℃未満または40℃超)では使用しないでください。
11. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
12. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。

15. 燃えている、または煙が出ている物体(タバコ、マッチ、熱い灰など)を本製品に吸わせないでください。発火の原因となります。
16. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
17. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
18. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
19. CH24B7 に適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数 4 個、最大公称電圧 DC 14.4V、定格 3,200mAh です。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
20. 使用済みのバッテリーは、各自治体の指示に従って廃棄するようにしてください。
21. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
22. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
23. ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
24. ご使用環境の電源の電圧が、全自動クリーニングステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
25. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび全自動クリーニングステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
26. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や全自動クリーニングステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。
27. 全自動クリーニングステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。

28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または全自動クリーニングステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあつた場合は、本製品または全自動クリーニングステーションを使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
29. 全自動クリーニングステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
30. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を全自動クリーニングステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
31. 全自動クリーニングステーションを長時間使用しないときは、電源を切ってください。
32. 長期間ロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、全自動クリーニングステーションから外して保管してください。
33. 警告 - 洗浄水タンクにはきれいな水だけを追加してください。
34. **警告:** バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH24B7 を必ず使用してください。


高周波 (RF) 曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

デバイスの更新

一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、絶対ではありません。

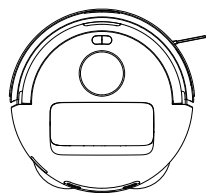
一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

	クラスII
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

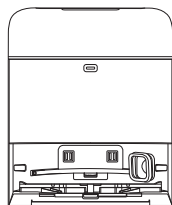
リモート監視は、非公開の私有地において、純粋な自己防衛と単独の管理を目的とした絶対的な私的使用のためのものです。ご利用の際には、現地のデータ保護に基づく法的義務にご注意ください。公共の場所の監視は行わないでください。特に、正当な理由なく、秘密裏に、または雇用主側による監視は行わないでください。このような不当な使用は、ユーザーのみがリスクと責任を負うこととなります。

製品構成

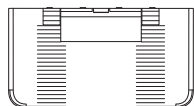
① パッケージ内容



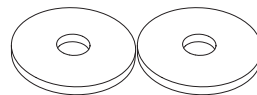
本体



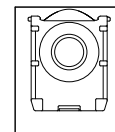
OMNI ステーション



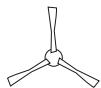
ベース



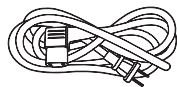
洗えるモップパッド (5 組)



ダストパック (6 枚)



サイドブラシ



ステーションの電源コード



取扱説明書

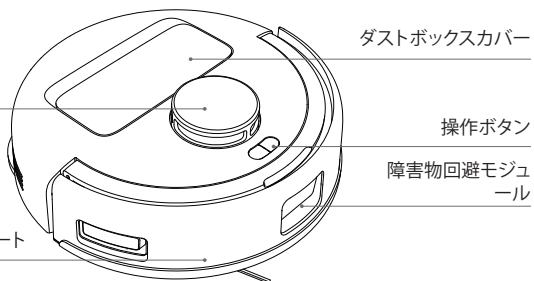
DEEBOT mini PRO アクセサリキットには、次のアイテムが含まれています：

注記:図やイラストは参考用であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。
製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

2 各部の名称

1. 本体の前面

ナビゲーションモジュール



緩衝衝突防止プレート

DEEBOT ボタン操作手順:

🏠 短く押す: 終了 / OMNI ステーションに戻る
長く押す: ステーションのセルフクリーニング (本体が OMNI ステーション内にある必要がある)

🔌 短く押す: 開始 / 一時停止 / 続行 長く押す: 電源オン / オフ

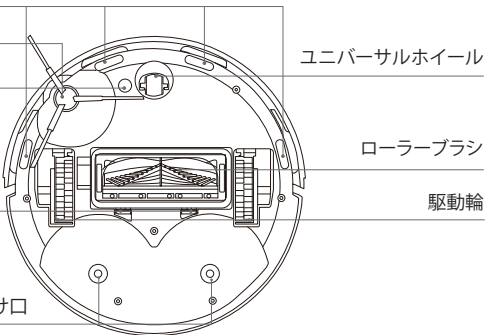
🏠 + 🔌 長押し: チャイルドロック

2. 本体の背面

落下防止センサー

サイドブラシ

カーペット検知センサー



ユニバーサルホイール

ローラーブラシ

駆動輪

モップモジュール取り付け口

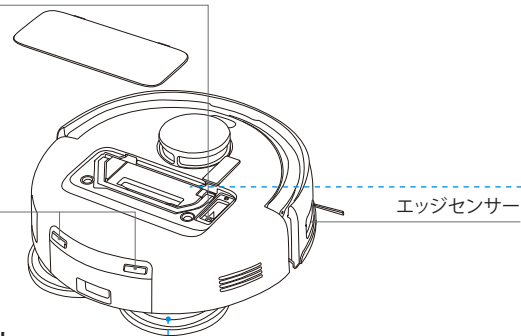
3. 本体内部 (ダストボックスカバーの下部)

🔌 リセットボタン

短く押す: ネットワーク設定 長く押す: リセット
ネットワーク設定時: リセットボタンを押すと、本体にネットワークを設定するよう音声で指示されます。

工場出荷時の設定に戻す: リセットボタンを長押しします。音声プロンプトの後、起動音楽が鳴り、本体が工場出荷時の設定に復元されます。慎重にご使用ください。

充電接点



エッジセンサー

4. モップモジュール

モップホルダー

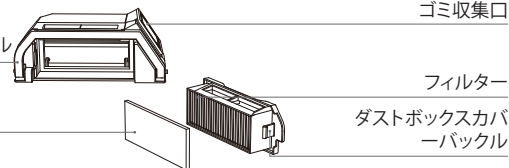


洗えるモップパッド

5. ダストボックス

ダストボックスハンドル

フィルターコットン

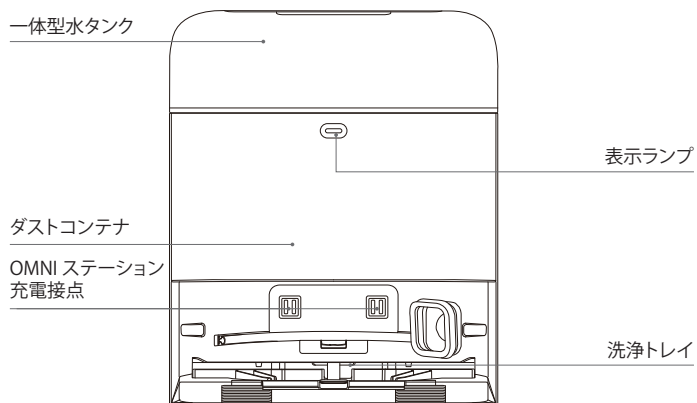


ゴミ収集口

フィルター

ダストボックスカバーバックル

6. OMNIステーション(前面)

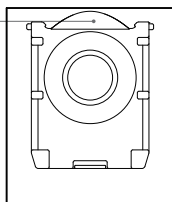


ご注意:

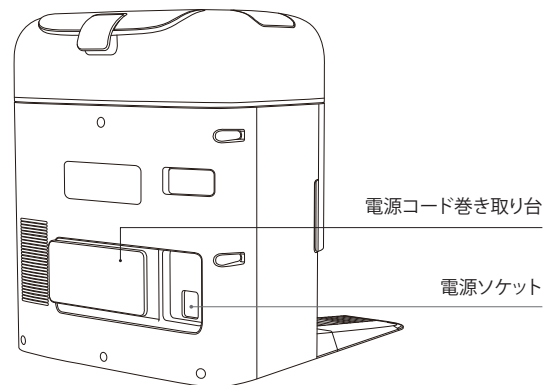
- ・赤色で点滅する場合は、ECOVACS HOME アプリにアクセスして故障の具体的な原因を確認してください。
- ・機器が充電できない場合は、OMNIステーション充電接点を乾いた布で拭いてみてください。

7. ダストバッグ

ダストバッグハンドル



8. OMNIステーション(背面)



9. 表示ランプ

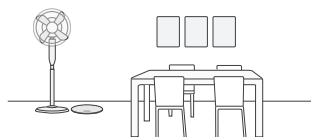
表示ランプ	ランプ状態	ステータス
本体	白色でゆっくり点滅	充電中
	白色で点灯	フル充電 / 動作中 / 一時停止
	赤色で点灯	バッテリー残量が少ない
	赤色で点滅	アラーム
ステーション	白色で点灯	待機 / 動作中
	赤色で点滅	故障警告
	消灯	電源オフ / スリープ

10. センサーの概要

各部の名称	機能説明
ナビゲーションモジュール	レーザーの放射と周囲の物体からの反射の受信によって形成される三角形の関係原理を使用して、ナビゲーションモジュールにより本体と周囲の物体との間の正確な距離測定情報を計算します。本体が特定の環境内で移動すると、周囲の物体の位置が特定され、本体がいて空間環境のマップが作成されます。測定範囲は 6m です。
障害物回避モジュール	レーザー距離測定原理を利用して、センサーはレーザーラインを放射し、前方の障害物で反射された光を受信し、カメラを使用して本体までの距離を識別します。センサーは、本体の近くに設定高さを超える障害物があることを識別すると、自動的に方向転換して障害物を迂回して移動します。測定範囲は 0.3m です。
落下防止センサー	赤外線距離測定原理を使用して、本体の底部にある赤外線センサーが本体の底部と地面の間の高さを監視します。本体の前に下向きの段差がある場合(たとえば、白い地面の高さが 70mm を超え、黒い地面の高さが 55mm を超える場合)、センサーの読み取り値が設定値を超えると、本体は前進しなくなり、本体の落下防止機能が実現されます。
カーペット検知センサー	超音波プローブは 300KHZ の超音波を放射します。カーペットがある場合、超音波のエネルギーはカーペットに吸収され、反射エネルギーは閾値未満であるため、本体はカーペットがあることを認識します。ECOVACS 実験室で市販の 50 種類以上のカーペットを識別します。
衝突防止センサー	オプトカプリアスイッチの原理により、DEEBOT が物体に衝突した場合、障害物を回避します。
エッジセンサー	赤外線距離測定原理により、DEEBOT の側面と物体との間の距離が検出されます。右側に壁や障害物がある場合、本体はエッジに沿って移動し、掃除の見逃しや衝突を回避します。

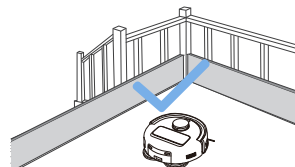
製品使用

① 掃除前の注意事項



掃除する場所を片付ける

掃除するエリアを整理し、椅子などの家具を適切な場所に配置してください。



本体の落下を防ぐ

ユニットが落下しないように、必要に応じて端に物理的な障壁を設置してください。



部屋のドアを開けて本体のスキャンを支援

初回使用時は、DEEBOT が家全体を十分に把握できるように、各部屋のドアが開いていることを確認してください。また、モップパッドを取り外して、「吸引のみ」モードに切り替えてください。



床にあるケーブル、布、スリッパなどは片付けると、掃除の効率が向上します。



タッセル付きのラグで使用する場合は、ラグの端を内側に折り込んでからご使用ください。



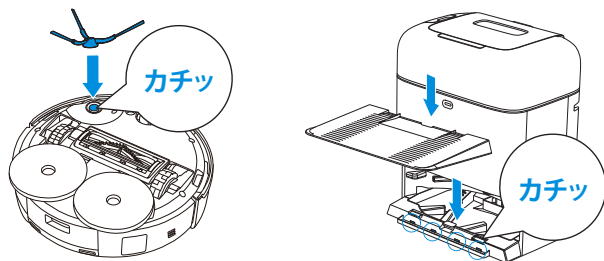
廊下などの狭い場所に立たないようにし、センサーをふさがないようにご注意ください。

2 使用前の準備

本製品を使用する前に、本体と OMNI ステーション上のすべての保護物を取り外してください。

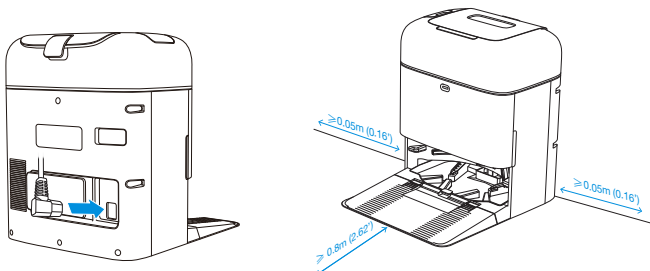
1. 本体とOMNIステーションを取り付ける

「カチッ」という音が聞こえたら、正常に取り付けられています。



2. OMNIステーションを設置し、電源を入れる

OMNIステーションを平らで硬い床に置きます。左右0.05 m以内、前方0.8 m以内に物を置かないでください。

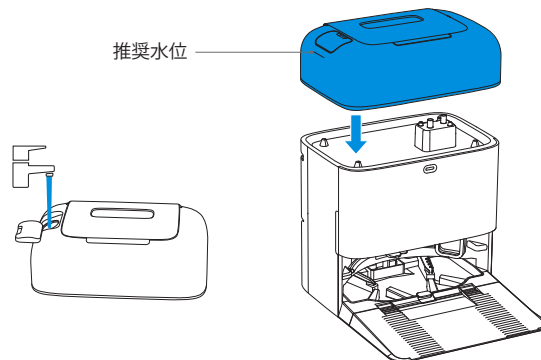


ご注意:

- OMNI ステーションの近くにミラーや反射幅木などの反射物がある場合は、その物体の下部 14 cm を遮る必要があります。
- OMNI ステーションを直射日光の当たる場所に置かないでください。
- より良いユーザーエクスペリエンスを実現するために、Wi-Fi 信号が強い場所に設置することをお勧めします。
- 濡れた床や水が溜まっている床でステーションを使用しないでください。
- 本体および OMNI ステーションを濡った布で拭いたり、液体で洗い流したりしないでください。

3 一体型水タンク補充

一体型水タンクを取り出し、タンクプラグを抜き、推奨水位まで水を入れます。水を補充した後、水タンクのプラグを締め、水タンクをOMNIステーションに取り付けます。



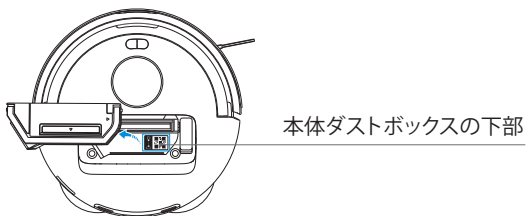
ご注意:

- ECOVACS 純正の洗浄液と一緒にご使用いただけます。ご購入が必要な場合は、ECOVACS HOME アプリストアまたは ECOVACS 公式ウェブサイトストア (<https://www.ecovacs.com>) をご覧ください。
- 機器の故障を防ぐため、ECOVACS 純正の洗浄液のみを使用してください。
- 水タンクの外側に水滴が残っている場合は、柔らかい乾いた布で拭き取ってから所定の位置に取り付けてください。
- 使用前に、製品の正常な使用に影響を与えないように、清水注入口の水タンクプラグと汚水出口カバーがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- 水タンク内の水垢は工場出荷時のテストで残ったものですので、安心してご使用ください。

4 アプリのダウンロード

DEEBOT のその他の機能を体験するには、ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてください。

方法 1: 本体上の QR コードをスキャンし、指示に従ってアプリを無料でダウンロードしてインストールします。



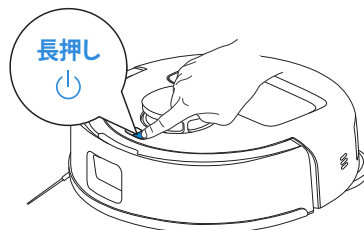
方法 2: QR コードをスキャンするか、携帯電話のアプリストアで ECOVACS HOME アプリを検索してダウンロードしてください。



注意: インストールが完了したら、携帯電話のアプリページの指示に従って、登録、ログイン、ネットワーク設定を完了してください。

5 本体の電源をオンにする

電源ボタンを長押しして本 OMNIステーションの前に置き、OMNIステーションの電源が入っていることを確認します。




6 本体のネットワーク設定

Wi-Fi ネットワーク要件:


- 2.4GHz または 2.4/5GHz 混合ネットワークを使用しています。
- ルーターは 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルをサポートしている必要があります。
- VPN 仮想プライベートネットワークまたはプロキシサーバーを使用しないでください。
- 非公開ネットワークは使用しないでください。
- TKIP、PSK、AES/CCMP で暗号化された WPA および WPA2 をサポートしています。
- WEP EAP (エンタープライズ認証プロトコル) はサポートされていません。
- 北米では Wi-Fi チャネル 1 ~ 11、北米以外では 1 ~ 13 を使用してください (現地の規制当局に確認してください)。
- ネットワークエクステンダー/リピーターを使用している場合、ネットワーク名 (SSID) とパスワードはプライマリネットワークと同じにしてください。
- ルーターで WPA2 オプションが有効になっていることを確認してください。

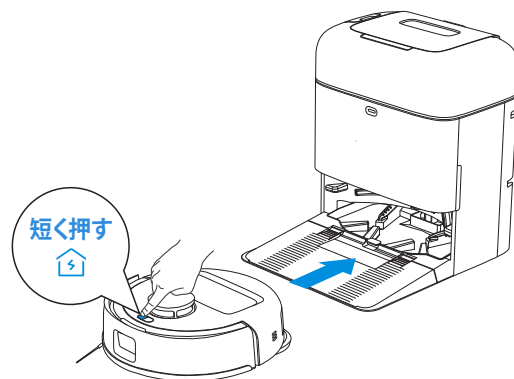
Wi-Fiインジケータライト

	白色でゆっくり点滅	Wi-Fi に未接続
	白色で素早く点滅	接続中
	白色で点灯	Wi-Fi に接続

リモートスタート、音声インタラクション、2Dマップ表示と制御設定、パーソナライズされた掃除モードなどのECOVACS製品のインテリジェント機能(特定の製品によって異なる)を実現するには、ユーザーがECOVACSによって継続的に更新されるECOVACS HOMEアプリをダウンロードして使用してください。お客様の一部の基本的な必要情報を処理し、ECOVACS HOMEアプリを使用して本製品の一部の機能を制御できるようにするには、当社の「プライバシーポリシー」と「利用規約」に同意する必要があります。当社の「プライバシーポリシー」と「利用規約」に同意しない場合は、ECOVACS HOMEアプリを使用して本製品を制御して、前述した本製品の一部のインテリジェント機能を実現することはできませんが、本製品の手動操作の基本機能は引き続きご利用いただけます。

7 本体充電

ECOVACS HOMEアプリを使用して本体を呼び出すか、或いは  を短押しすると、本体はステーションに戻させ、充電が開始できます。



ご注意:

- 本体の電源がオフの状態では充電することはできませんので、ご注意ください。
- 本体の作業が終了したら、次のタスクをよりスムーズに実行できるように、本体をシャットダウンせず、充電状態のままにしておくことをお勧めします。
- 掃除完了後に本体がスムーズに充電に戻れるように、本体は OMNI ステーションから出発することをお勧めします。掃除中は OMNI ステーションを移動しないでください。

8 掃除を始める


1. マッピングを開始

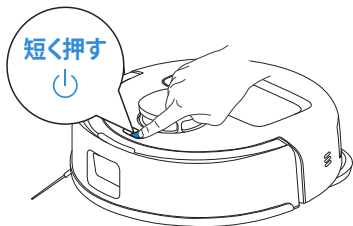
初めてマップを作成するときは、本体につき従い、小さな問題を解決してください。本体が家具の低い場所に引っかかることがあります。問題を解決するには、次の方法を参照してください。

- ① 可能であれば、家具を高くします。
 - ② 本体が入らないように家具の下部を遮断します。
 - ③ 本体が進入できないように、アプリ内に仮想壁を設定します。
- 本体がカーペットにブロックされ部屋に入ってマップを構築できない場合があります。解決するには、次の方法を参照してください。マップ作成前に、モップモジュールを取り外して、本体がカーペット敷きの部屋に入ってマップを作成できるようにします。

2. 掃除開始

- ・手動で操作することなく、本体は自動的にOMNIステーションに戻り、ゴミ収集とモップ洗浄を行います。
- ・吸引・モップをする際、DEEBOTは床の種類を識別し、カーペットを自動的に避けます。DEEBOTをカーペットの上で使用しないでください。掃除中は部屋の入り口にあるカーペットを収納することをお勧めします。

初めて掃除タスクを始めるときは、製品が OMNI ステーションにいる、かつ完全に充電されていることを確認してください。本体上の  ボタンを短く押して掃除を始めます。または、ECOVACS HOME アプリを使用して DEEBOT を制御し、掃除を開始することもできます。




ご注意:

- ・洗えるモップパッドの耐用年数を延ばすには洗えるモップパッドを頻繁に取り外さないでください。
- ・ベルクロの耐用年数を短くしないようモップホルダーを雑巾やその他の物で傷つけないでください。
- ・ECOVACS HOME アプリにモップの交換が必要であるというメッセージが表示されたら、すぐに交換してください。アクセサリを購入するには、ECOVACS HOME アプリストアまたは ECOVACS ウェブサイトストア (<https://www.ecovacs.com>) をご覧ください。


3. 一時停止

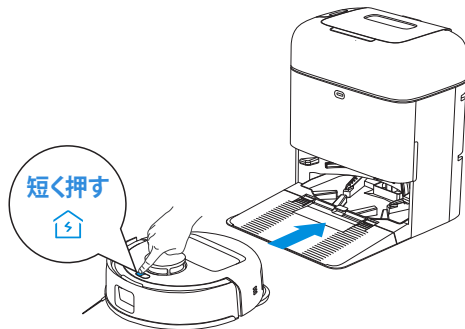
本体が動作しているときに、本体上の  を短く押すと、本体が一時停止します。または、ECOVACS HOME アプリを使用して DEEBOT を制御し、動作を一時停止することもできます。

4. 起動

しばらく一時停止すると、本体パネル上の全ての表示ランプが消灯します。起動を再開する必要がある場合は、 を短く押してください。

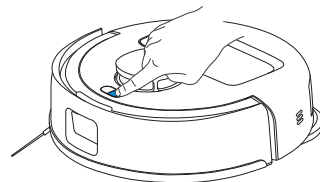
5. OMNI ステーションに戻る

ECOVACS HOME アプリで本体をステーションに戻らせて或いは本体の  を短く押すと、本体がステーションに戻って、充電を開始します。



6. ディープスリープ

バッテリーを保護するために、本体はOMNIステーションの外で約5時間待機状態になった後、ディープスリープモードに入ります。本体の電源をオフにして、本体を再起動してください。



部品メンテナンス

① メンテナンスと保守の頻度

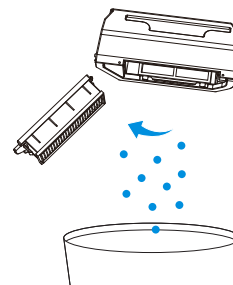
本体の最高のパフォーマンスを維持するために、下表の頻度で本体部品の保守・メンテナンスを行うことをお勧めします。

部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるモップパッド	/	1～2 か月ごと
ダストバッグ	/	アプリにメッセージが表示される時に交換する
サイドブラシ	2 週間ごと	3～6 か月ごと
ローラーブラシ	1 週間ごと	6～12 か月ごと
本体ダストボックスフィルター	1 週間ごと	3～6 か月ごと
ラインレーザーセンサー ユニバーサルホイール 落下防止センサー 緩衝衝突防止プレート 本体充電電極 OMNI ステーション充電電極 ナビゲーションモジュール	約 1 か月	/
一体型水タンク	1 か月ごと	/
ダストコンテナ内部	1 か月ごと	/
OMNI ステーション本体と 底部	1 か月ごと	/

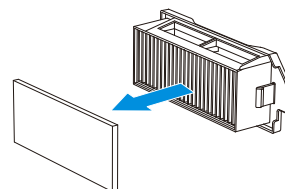
ご注意: 各種アクセサリを購入する場合は、ECOVACS HOME アプリストアまたは ECOVACS 公式ストア (<https://www.ecovacs.com>) をご覧ください。

② ダストボックス

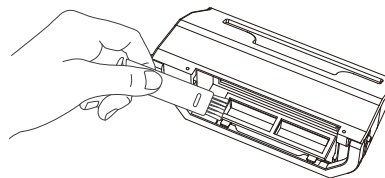
1. ダストボックスを開けてゴミを捨てます。



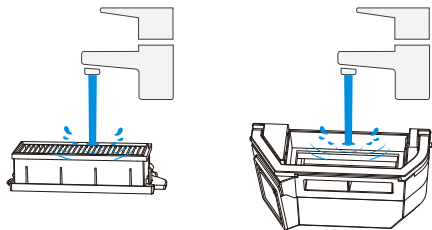
2. フィルターとフィルターコットンを取り外します。



3. ダストボックスを清掃します。



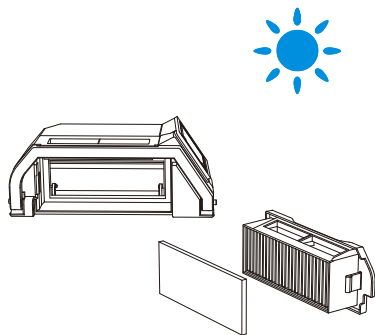
4.ダストボックスとフィルターは洗い流すことができます。洗い流した後は水滴を振り落としてください。



ご注意:

- 図のようにきれいな水で洗い流してください。
- フィルターをブラシや手でこすらないでください。

5. 乾燥

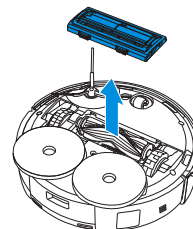


ご注意: ご使用前にフィルターを完全に乾燥させてください。

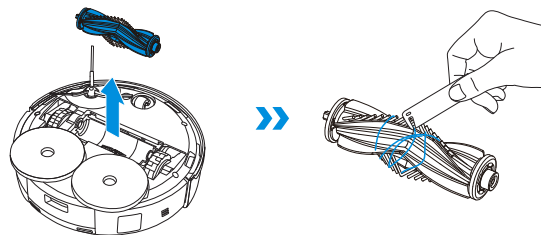
③ ローラーブラシとサイドブラシ

ローラーブラシの清掃

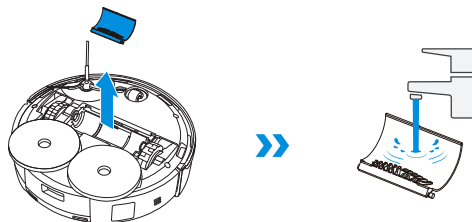
1. ローラーブラシカバーを開けます。



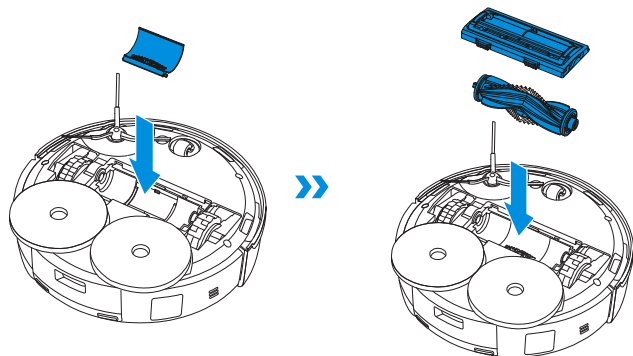
2. ローラーブラシを取り外して清掃します。



3. くし歯を取り外し、清掃して乾燥させます。

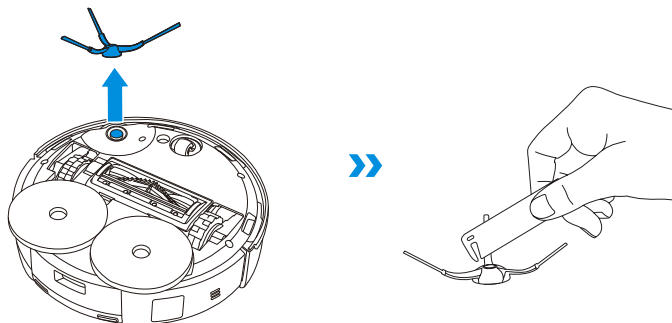


4. くし歯、ローラーブラシ、ローラーブラシカバーを取り付けます。



サイドブラシの清掃

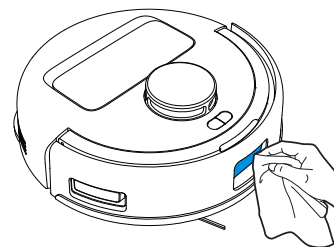
サイドブラシを取り外して清掃します。



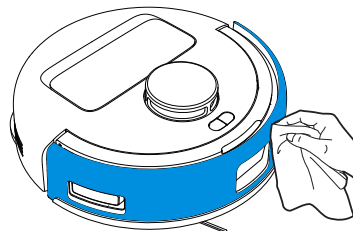
清掃用具を購入する場合は、ECOVACS HOME アプリストアまたは ECOVACS 公式ストア (<https://www.ecovacs.com>) をご覧ください。

④ その他の部品

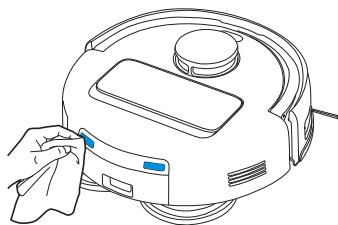
障害物回避モジュールの清掃



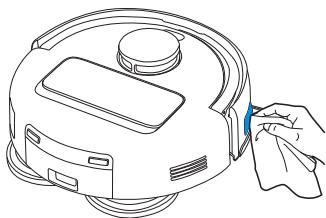
緩衝衝突防止プレートの清掃



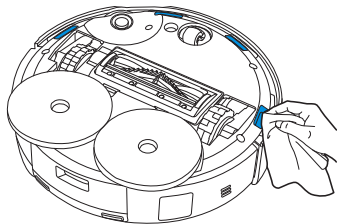
充電接点の清掃



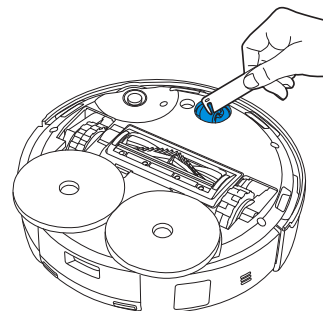
エッジセンサーの清掃



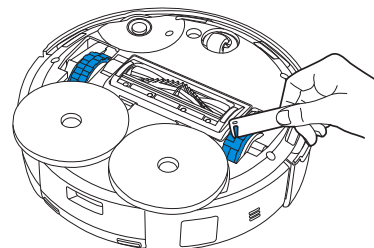
落下防止センサーの清掃



ユニバーサルホイールの清掃



駆動輪の清掃

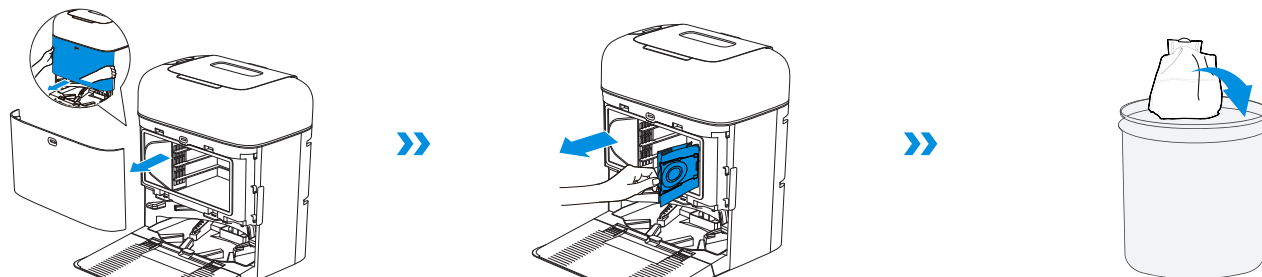


清掃用具を購入する場合は、ECOVACS HOME アプリストアまたは ECOVACS 公式ストア (<https://www.ecovacs.com>) をご覧ください。

- 濡れた布ではなく、清潔な柔らかい布で拭いてください。水の侵入による損傷を防ぐため、洗剤、洗濯用洗剤、スプレーなどは使用しないでください。
- 充電電極の内部には敏感な電子部品が含まれています。清掃の際は乾いた布を使用してください。水の侵入による損傷を防ぐため、濡れた布は使用しないでください。

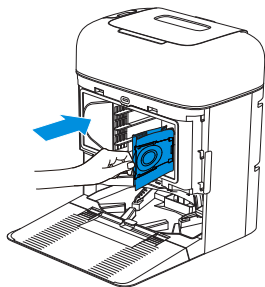
5 ダストバッグ

1. ダストコンテナカバーを取り外します。

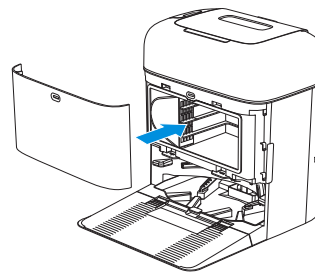


取り出す際には、ダストバッグハンドルがダストバッグを密閉し、ホコリの漏れを効果的に防ぎます。

2. 乾いた布でダストコンテナを拭き、新しいダストバッグを取り付けます。

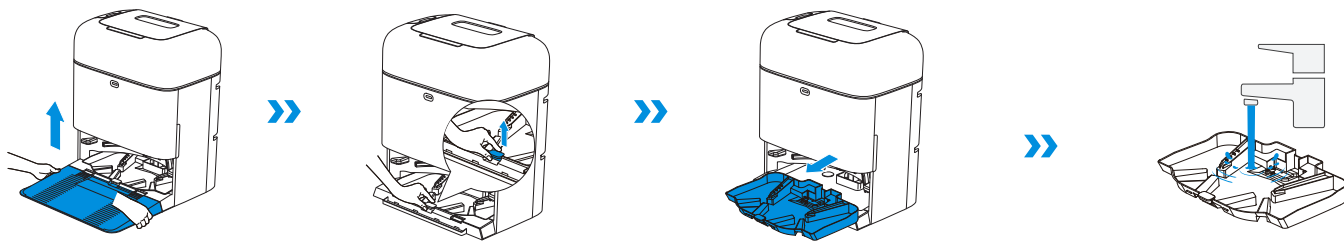


3. ダストコンテナカバーの上部にある突起部を溝に挿入し、押し下げてしっかりと密閉します。

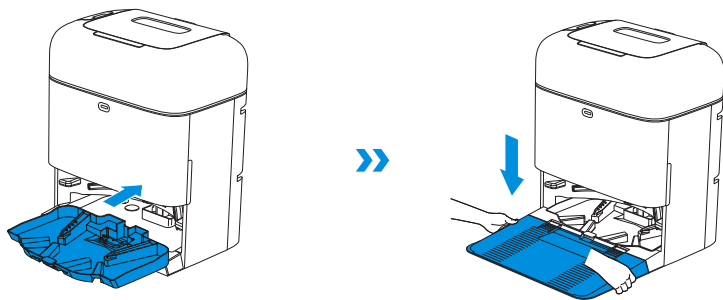


⑥ モップ洗淨トレイ

1. 取り外し可能なトレイとベースを取り外して清掃します。




2. 取り外し可能なトレイとベースを取り付けます。

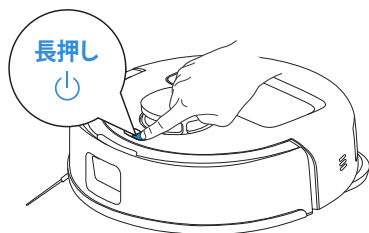



ご注意: 故障を防ぐため、取り外し可能なトレイとベースを正しく取り付けてください。

7 保管

製品を長期間使用しない場合は、完全に充電して電源を切ってから保管してください。シャットダウンするには、本体を OMNI ステーションへ戻し、 を長押しして電源を切ります。

バッテリーの過放電を防ぐために、1.5 か月ごとに充電してください。




 本体の電源がオフの状態では充電することはできませんので、ご注意ください。

- ロボットを使用していない場合、事前に電源をオンにして充電する事を推奨しています。
- バッテリーが過放電になったり、長期間使用されなかったりすると、ロボットが正常に充電されない場合があります。その場合は、当社までご連絡ください。バッテリーはご自身で分解しないでください。


一般的な問題のトラブルシューティング

製品の使用中に、次のような状況に遭遇した場合は、関連する解決策を参照して自分で解決することができます。これらの操作を実行しても問題が解決しない場合は、アフターサービス担当者にお問い合わせください。

番号	故障状態	考えられる原因	解決策
1	本体はアプリに接続できない。	Wi-Fi 名とパスワードが間違っています。	正しい Wi-Fi 名とパスワードを入力してください。
		本体はルーターのネットワーク信号の範囲内にありません。	本体がルーターのネットワーク信号の範囲内にあり、ルーターにできるだけ近づけることを確認してください。
		本体はネットワーク設定状態になっていません。	リセットボタンを短く押すと、ネットワーク設定モードに入ります。ネットワーク設定に失敗した場合は、アプリの指示に従ってネットワークを再設定してください。
		Wi-Fi リストにホーム Wi-Fi がありません。	1. Wi-Fi 名に特殊文字が含まれているかどうかを確認してください。! @#& などの特殊文字を使用しないことをお勧めします。 2. Wi-Fi をチェックして、5GHz ネットワークを使用していないことを確認してください。
		間違ったアプリをダウンロードした可能性があります。	本製品の QR コードをスキャンするか、App Store にアクセスして ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてください。
		2.4Hz または 2.4/5GHz ハイブリッドネットワークは使用できません。	本体は現在 5GHz ネットワークをサポートしていません。インターネットに接続するとき、2.4GHz または 2.4/5GHz ハイブリッドネットワークを使用してください。
2	マップが失われた。	本体を移動すると、マップが失われる恐れがあります。	本体を OMNI ステーションに戻して復元を試みます。ECOVACS HOME アプリのマップ管理で保存したマップを見つけて、「マップの使用」をクリックして復元してみてください。上記の解決策で問題が解決しない場合は、マップを再構築することをお勧めします。
		掃除中に本体が移動されたため、本体の位置決めに失敗しました。	掃除中は、本体をできるだけ動かさないようにしてください。
		自動掃除タスクは完了しませんでした。	掃除完了後、本体が自動的に OMNI ステーションに戻るようになります。
3	アプリでホームマップを作成できない。	掃除中に本体が移動されたため、本体の位置決めに失敗しました。	掃除中は、本体をできるだけ動かさないようにしてください。
		自動掃除タスクは完了しませんでした。	掃除完了後、本体が自動的に OMNI ステーションに戻るようになります。
4	サイドブラシが外れた。	所定の位置に取り付けていません。	取り付ける際は、サイドブラシが所定の位置に取り付けられていることを確認するために、「カチッ」という音が聞こえる必要があります。

番号	故障状態	考えられる原因	解決策
5	OMNI ステーションの信号が見つからないため、OMNI ステーションに戻れない。	OMNI ステーションが正しく設置されていません。	取扱説明書の【 本体充電 】セクションの指示に従って、OMNI ステーションを正しく配置してください。
		OMNI ステーションの電源がオフになっているか、手動で移動されています。	OMNI ステーションが電源に接続されているかどうかを確認してください。OMNI ステーションを手動で移動しないでください。
		本体は OMNI ステーションから掃除を開始しませんでした。	本体が OMNI ステーションから掃除を開始できるようにすることをお勧めします。
		充電に戻るルートが遮断されています。たとえば、OMNI ステーションが設置された部屋のドアは閉まっています。	充電に戻るルートを妨げないようにしてください。
6	掃除が完了しておらず、本体は充電に戻る。	部屋は広く、途中で充電するために本体が戻る必要があります。	「中断位置から再開」を有効にすることをお勧めします。具体的な操作方法については、アプリ内の指示を参照してください。
		家庭環境が非常に複雑な場合、掃除効率が低下し、掃除を完了できない可能性があります。	家の環境を整えます。
7	本体が充電できない。	本体の電源スイッチがオンになっていません。	充電する前に、本体の電源ボタンを長押しして電源がオンになっていることを確認してください。
		本体と OMNI ステーションの充電電極が十分に接触していません。	本体と OMNI ステーションの充電電極が完全に接続されていることを確認し、  ボタンが点滅しています。本体と OMNI ステーションの充電電極が汚れていないか確認してください。清掃について、取扱説明書の【 部品メンテナンス 】セクションを参照してください。
		OMNI ステーションが電源に接続されていません。	OMNI ステーションの電源が接続されていることを確認してください。
		ステーションスロープベースが所定の位置に取り付けられていません。	正しい取り付け方法について、取扱説明書の【 使用前の準備 】セクションを参照してください。
		長期間使用しないと、バッテリーが過放電になる可能性があります。	本製品は頻繁に使用することをお勧めします。長期間使用せず充電できない場合は、アフターサービス担当者にお問い合わせください。
8	本体が動作しているときは、動作音が大きくなる。	サイドブラシやローラーブラシが絡まっている、ダストボックスやフィルターが詰まっているなど。	サイドブラシ、ローラーブラシ、ダストボックス、フィルターなどは定期的に清掃・メンテナンスすることをお勧めします。
		本体は強力な掃除モードに入ります。	標準掃除モードに変更します。
9	ホストが動作中に引っかかってしまう。	本体が、地面に散らばったケーブル、垂れ下がったカーテン、カーペットの端などに絡まったり、遮られたりします。	本体は自らさまざまな方法で試しますが、脱出できない場合は、手動による支援をお勧めします。
		本体の高さに近い家具に本体が引っかかる可能性があります。	家具を高くしたり、手動でブロックしたり、アプリを通じて仮想壁を設置したりすることをお勧めします。
		本体が狭いエリアに引っかかっています。	家の環境を整えたり、狭いエリアを手動でブロックしたり、アプリを通じて仮想壁を設置したりすることをお勧めします。

番号	故障状態	考えられる原因	解決策
10	本体が動作しているとき、ルートの混乱、逸脱、重複した掃除、狭いエリアの掃除漏れなどの問題が発生した。(一時的に掃除されていない広いエリアがある場合、本体が自動的に漏れのエリアを追加で掃除するので心配しないでください。本体が掃除済みの部屋に再び入ることもあります。その場合は再度掃除するのではなく、自動的に漏れのエリアを追加で掃除するだけです。)	地面に置かれたケーブルやスリッパなどの物体は、本体の進路を遮ります。	本体動作前に、地面に散らばっているケーブルやスリッパなどを整理し、地面に散らばっている物をできるだけ減らしてください。掃除漏れが発生した場合、本体は自動的に追加で掃除するので、手動干渉をしないでください(本体を移動したり、ルートをブロックするなど)。
		本体が階段、敷居、またはドアのストリップを登るときに駆動輪が地面で滑る可能性があり、その結果、本体の家全体の環境の判断に影響が及ぶ可能性があります。	このエリアのドアを閉めて、このエリアを単独で掃除することをお勧めします掃除後はスタート地点に戻りますので、ご自由にご利用ください。
		ワックスを塗り、磨いたばかりの床や滑らかな床タイルの上で動作すると、駆動輪と地面の間の摩擦が減少します。	フロアワックスが乾くまで待つてから使用することをお勧めします。
		家庭環境により、特定のエリアでは本体が掃除のために入ることができない場合があります。	吸引・モップ掃除モードでは、カーペットで遮られた部屋に本体が入ることができません。掃除タスクを行うには、カーペットを収納するか、モップモジュールを取り外すことをお勧めします。
11	リモートコントロール操作の遅延が長い。	本体が接続した Wi-Fi 信号が弱いため、ビデオの読み込みが遅くなります。	本体は Wi-Fi 信号が良好なエリアで使用することをお勧めします。
12	本体が OMNI ステーションに戻った後自動ゴミ収集が開始されない。	ダストコンテナが閉まっていません。	ダストコンテナを開めてください。
		ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ収集機能が有効になっていません。	ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ収集機能を有効にします。
		オールインワンステーションにはダストバッグが取り付けられていません。	ダストバッグを取り付け、ダストコンテナを開めます。
		本体を手動で OMNI ステーションに戻しても、自動ゴミ収集はトリガーされませんでした。	掃除完了後、本体がスムーズに充電とゴミ収集に戻れるように、本体を手動で動かさずに、本体が OMNI ステーションに自動的に戻るようにすることをお勧めします。
		ECOVACS HOME アプリで「おやすみモード」に設定すると、本体はオールパワフルステーションに戻ってもゴミ収集を開始しません。	ECOVACS HOME アプリで「おやすみモード」をキャンセルするか、手動でゴミ収集を開始することができます。
上記の考えられる原因が除外された場合、OMNI ステーションのコンポーネントに異常がある可能性があります。	アフターサービス担当者にお問い合わせください。		
13	自動ゴミ収集失敗。	OMNI ステーションはゴミ収集効率の低下を検出しました。	取扱説明書の【部品メンテナンス】の指示に従ってダストバッグを交換し、ダストコンテナを開めます。アプリにメッセージが表示されても、ダストバッグがまだいっぱいではない場合は、ダストバッグを取り出して再び取り付けてください。
		ダストボックスのゴミ収集口が異物で詰まっています。	ダストボックスを取り出し、ゴミ収集口の異物を清掃してください。

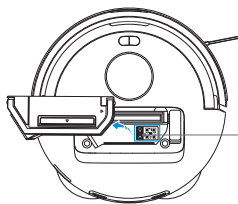
番号	故障状態	考えられる原因	解決策
14	OMNI ステーションのダストコンテナが汚れている。	細かい粒子はダストバッグを通してダストコンテナの内側に吸着されます。	ダストコンテナの内壁を清掃してください。
		ダストバッグが破損しています。	ダストバッグを点検し、交換してください。
15	動作中に本体からホコリが漏れる。	ダストボックスのゴミ収集口が異物で詰まっています。	ダストボックスを取り出し、ゴミ収集口の異物を清掃してください。
16	モップホルダーが回転できない。	モップホルダーが所定の位置に取り付けられていません。	モップホルダーを正しく取り付けてください。モップモジュールをモップモジュール取り付け口に「カチッ」という音がするまで押し込みます。
		モップホルダーは異物で詰まっています。	異物を取り除いてください。
17	駆動輪が詰まっている。	駆動輪が異物に絡まったり、引っかかっています。	駆動輪を回したり押ししたりして、異物で絡まったり詰まったりしていないか確認してください。異物がある場合は、すぐに取り除いてください。問題が解決しない場合は、アフターサービス担当者にお問い合わせください。
18	OMNI ステーションの洗浄トレイに水が満杯になっていて、吸い出すことができず、洗浄トレイに水が満杯になったことを音声アラームで知らせる。	一体型水タンクが正しく取り付けられていません。	一体型水タンクを軽く押しして、正しく取り付けられていることを確認します。
		汚水タンクのカバーがしっかりと固定されていません。	タンクの上部をチェックして、汚水タンクのカバーが閉め、しっかりと固定されていることを確認します。
		OMNI ステーションは正常に水を汲み上げることができません。	 ボタンを長押しして、OMNI ステーションが正常に水を汲み上げることができるかどうかを観察します。オールインワンステーションのモップ洗浄中にこの故障が発生した場合は、まずアプリからタスクを終了し、上記の手順を繰り返して、正常に水を汲み上げることができるかどうかを確認してください。正常に水を汲み上げることができる場合は、洗浄トレイのオーバーフローセンサーを拭いて乾かしてください。水を汲み上げることができない場合は、汚水タンクと OMNI ステーションの間に異物がないかどうかを確認し、異物がある場合は清掃してください。
		洗浄トレイの吸水口に異物が入っています。	洗浄トレイの吸水口に異物がないことを確認してください。
		洗浄トレイの取り外し可能なトレイが汚れています。	取り外し可能なトレイを洗浄トレイから取り外しきれいな水で洗い流します。
		洗浄トレイのベースに水がない場合は、フロートが詰まって落ちないかどうかを確認してください。	洗浄トレイのフロートを取り出して正しい位置に置きます。
		上記の方法を試しても音声アラームを解除できません。	OMNI ステーションの電源スイッチを再度差し込みます。問題が解決しない場合は、アフターサービス担当者にお問い合わせください。
19	モップトレイが正常に動作できない。	モップトレイに異物が絡まったり、詰まっています。	異物を取り除いてください。
		モップトレイが外れました。	モップトレイを再度取り付けます。取り付け時「カチッ」という音が聞こえたら、モップトレイが所定の位置に取り付けられるようにします。

製品パラメーター

製品モデル	DJX11
本体の定格入力	20 V $\overline{=}$ 2 A
充電時間	約 4 時間
自動モップ洗浄・ゴミ収集ステーションモデル	CH24B7
定格入力	100 V \sim 50-60 Hz
定格出力	20 V $\overline{=}$ 2 A
定格入力電流 (充電状態)	0.5 A
電力 (ゴミ収集状態)	2.6 A
電力 (乾燥状態)	1.0 A
周波数帯域	2400 \sim 2483.5 MHz
ネットワーク接続されたスタンバイ電源	2.00W 未満

無線モジュールの出力は 100mW 未満です。

注記: 製品の継続的な改良のため、技術仕様および設計仕様は変更される場合があります。詳しいアクセサリ情報は <https://www.ecovacs.com> でご覧ください。



モバイルカメラを使用して QR コードをスキャンし、ユーザーガイドを入手してください。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE

SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a

step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.

5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not use in extremely hot or cold environments (below $-5^{\circ}\text{C}/23^{\circ}\text{F}$ or above $40^{\circ}\text{C}/104^{\circ}\text{F}$).
11. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or

- any item that may clog the Appliance.
14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
 15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
 16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
 17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
 18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
 19. The lithium battery type suitable for CH24B7 is Max. 4 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 3,200mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
 20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
 21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
 22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
 23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
 24. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
 25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
 26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
 27. Do not use the OMNI Station if it is damaged.

- The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.
28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
 29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
 30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
 31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
 32. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
 33. WARNING-Add clean water into the clean tank only.
 34. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH24B7 provided with the Appliance.










To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

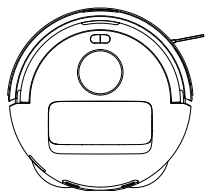
Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

	Class II
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link

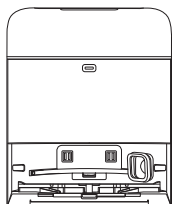
The remote surveillance is for the absolute private use of non-public, private owned places for the pure self-protection and single control intended only. Please be aware of the local data protection based legal obligations in case of use. No surveillance of public places, especially with clandestine intent and/or on the part of the employer without justified reasons. Such not justified use is in the risk and responsibility of the user only.

PACKAGE COMPONENTS

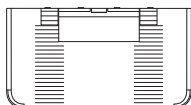
1 Package Contents



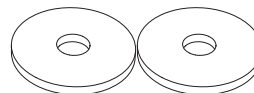
Robot



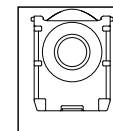
OMNI Station



Base



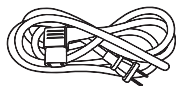
Washable Mopping Pads (5 pairs)



Dust Bag (6)



Side Brush



Power Cord



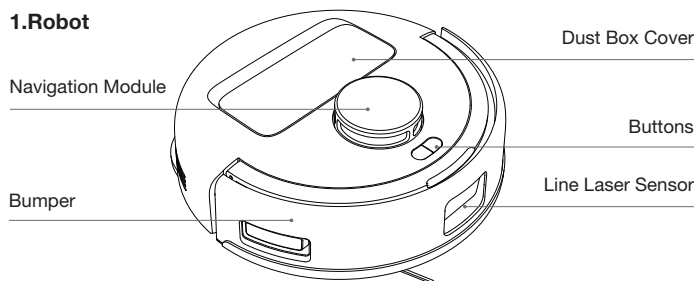
Instruction Manual

The DEEBOT mini PRO accessories kit includes the following items:

Note: Figures in this manual are for reference only and may differ from the appliance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

2 Product Diagram

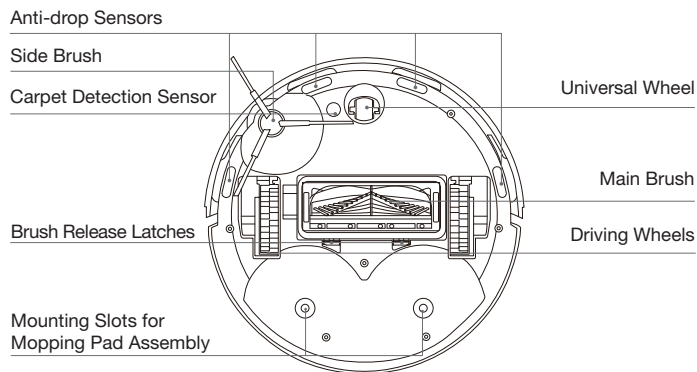
1. Robot



Buttons on the robot:

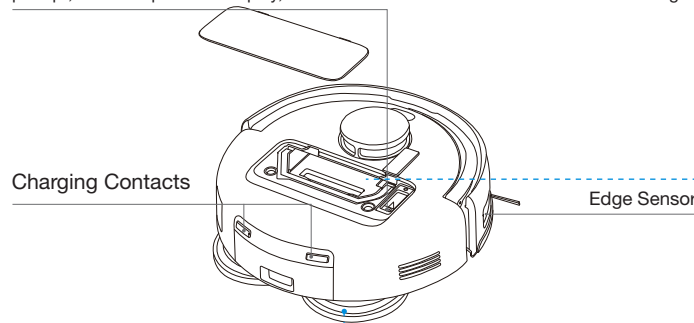
- Press: Exit/Return to the Station
Press and hold: Station Self-Cleaning (only available when the robot is inside the station)
- Press: Toggle Start/Pause/Continue Press and hold: Power on/Power off
- + Press and hold: Child Lock

2. Bottom Back View

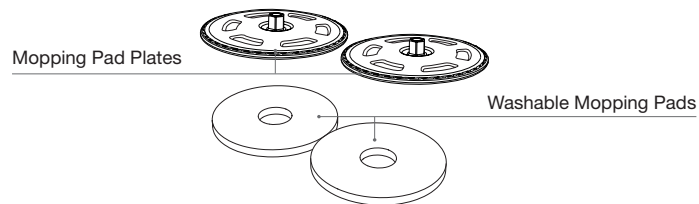


3. Inside the Robot (Under the Dust Box Cover)

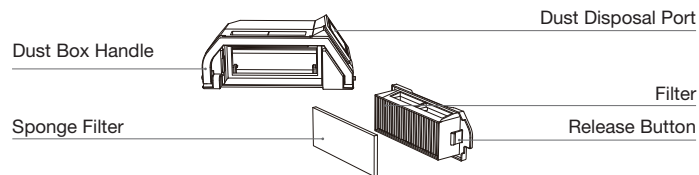
- RESET Button**
Press: Network setup Press and hold: Reset
Network Setup: Press the RESET Button, and you will hear a voice prompt to connect the robot with the APP.
Restore default settings: Press the RESET button and hold. After you hear the voice prompt, the startup music will play, and the robot will be restored to the default settings.



4. Mopping Pad Assembly



5. Dust Box

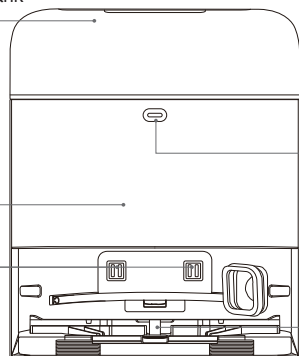


6. OMNI Station (Front)

Integrated Water Tank

Dust Collection Cabin

Charging Contacts



Indicator Light

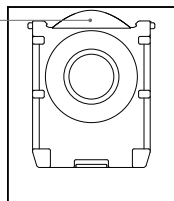
Mop Washing Tray

Note:

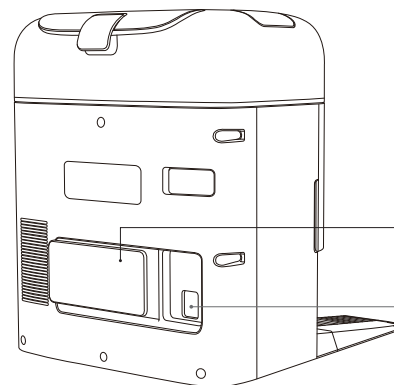
- Flashing Red: Please check the ECOVACS HOME App for the reason.
- If the robot fails to charge, please wipe charging contacts with a clean and dry cloth.

7. Dust Bag

Dust Bag Handle



8. OMNI Station (Back)



Cable Trunking

Power Socket

9. Indicator Light

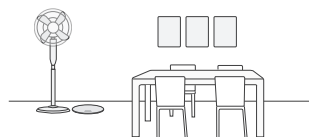
Indicator	Light Effect	State
Robot	Breathing White	Charging
	Solid White	Fully Charged/Running/Pause
	Solid Red	Low Battery
	Flashing Red	Alarm
Station	Solid White	Standby/Running
	Flashing Red	Malfunction
	Goes Out	Power Outage/ Deep Sleep Mode

10. Sensors Overview

Name	Functional Description
Navigation Module	Based on the triangulation formed through the emitted laser and the received laser reflected from surrounding objects, Navigation Module calculates the precise distance between the robot and nearby objects algorithms. When the robot moves, the positions of surrounding objects are determined to create a spatial map of its surroundings. The measurement range is 6 m.
Line Laser Sensor	Laser Ranging is applied to measure the distance between the robot and surrounding objects within 0.3 m by emitting lasers and detecting reflected light. When the sensor recognizes an object nearby that exceeds the maximum height, the robot turns automatically to avoid it.
Anti-drop Sensors	With Infrared Ranging, the distance between the robot's bottom and the ground is detected by the infrared sensors at the bottom. The robot will not move forward when there are stairs in front (such as when the height of the white surface is 70 mm or more, or the height of the black surface is 55 mm or more) and the identified height exceeds the preset one, realizing the anti-drop feature.
Carpet Detection Sensor	The sensor emits 300 kHz ultrasound, which energy will be absorbed by the carpet, causing the echoed energy to be lower than the threshold. The robot thereby detects the carpet's presence. In the ECOVACS laboratory, more than 50 types of carpets available on the market are identified.
Anti-collision Sensor	With the principle of the Optocoupler Switch, the robot will avoid obstacles when they are about to collide.
Edge Sensor	With Infrared Ranging, the edge sensor detects the distance between the robot and objects on the side. When there is a wall or obstacles on the right, the robot performs edge cleaning to avoid missing any spots and prevent collisions.

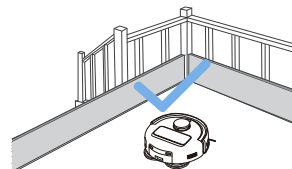
INITIAL SETUP AND USE

1 Notes before Cleaning



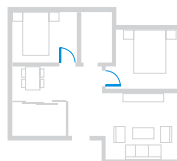
Tidy up the Area to be Cleaned

For the maximum cleaning area possible, put furniture, such as tables, chairs, and pedestal fans, in their proper place and put away low-lying items, such as weight scales, before using the robot.



Prevent DEEBOT from Falling

Place a physical barrier at the edge of a drop, such as staircases and steps, to stop the robot from falling over the edge.



Open Doors and Help DEEBOT Explore

Open all room doors to help the robot fully explore your house during the first use. Besides, remove the mopping pad assembly and the robot will be automatically switched to the vacuum-only mode.



Remove objects, including cables, clothes, and slippers, from the floor to improve cleaning efficiency.



Before using the product on a carpet with tasseled edges, please fold the tassels under the carpet.



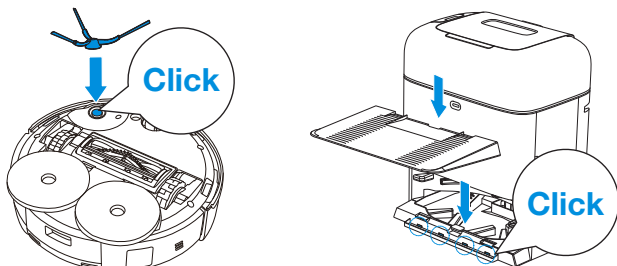
Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, to avoid blocking Navigation Module.

2 Quick Start

Remove all protective materials before using the appliance.

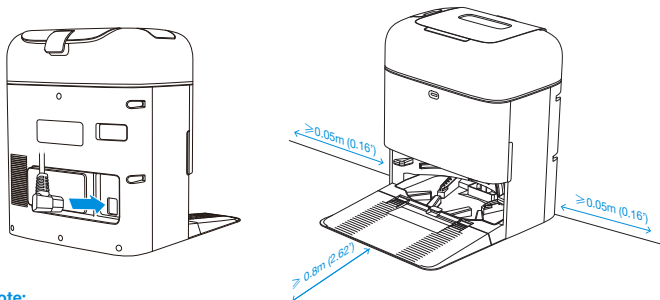
1. Installation

The sound of "click" indicates proper installation.



2. Assemble and Place the Station

Place the OMNI station against the wall on a flat, hard surface. Do not place items within 0.05 m on either side and 0.8 m in front.

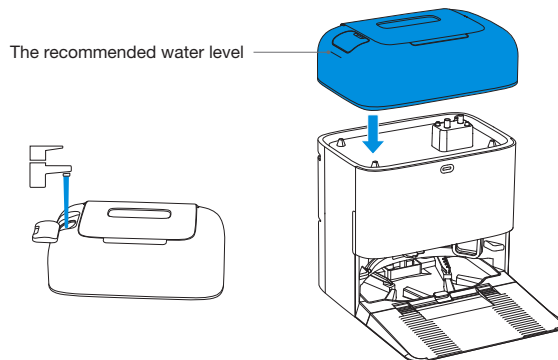


Note:

- If there are reflective objects such as mirrors and reflective skirting lines near the station, the bottom 14 cm of such objects should be covered.
- Do not place the station under direct sunlight.
- Place the station in a location with a strong Wi-Fi signal for better user experience.
- Do not use the appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
- Do not wipe the robot and the station with a damp cloth or use any liquid.

3 Fill the Integrated Water Tank

Take out the integrated water tank, remove the tank plug, and fill the tank with water up to the recommended water level. Insert the plug and reinstall the clean water tank.



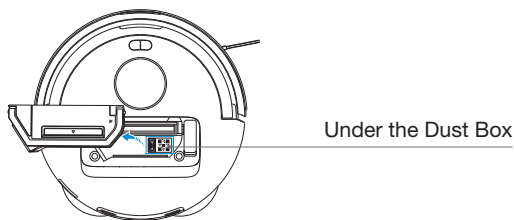
Note:

- It is recommended that ECOVACS DEEBOT cleaning solution (sold separately) be used. If you wish to purchase it, please go to the ECOVACS HOME App or visit <https://www.ecovacs.com>.
- Use only ECOVACS DEEBOT cleaning solution to avoid malfunctions.
- Use a clean, dry cloth to wipe off any water on the surface of the tank before placing it in position.
- Ensure the tank plug in the clean water inlet is securely closed, and the waste water outlet cover is properly sealed before use.
- Any water marks in the water tanks are from function testing. Please use it with confidence.

4 Download the ECOVACS HOME APP

To enjoy all available features, it is recommended that you control your robot via the ECOVACS HOME App.

1. Scan the QR code under the top cover to download the App.




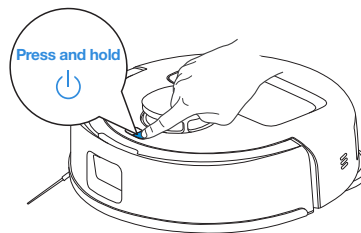
2. Search "ECOVACS HOME" on the App Store or Google Play to download the App.



Note: Follow the instructions on the App to complete the registration, login, and connection.

5 Power on Robot

Press and hold , then place the robot in front of the station that is connected to power supply.




6 Connect DEEBOT with APP

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as that of your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

Wi-Fi Indicator Light (on/off button)

	Slow flashing white light	Disconnected from Wi-Fi
	Fast flashing white light	Connecting
	Steady white light	Connected to Wi-Fi

Please be aware that intelligent features such as remote startup, voice interaction, 2D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on the Appliance) require the ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement so that we can process some of your essential and necessary information before you can use certain features of the ECOVACS HOME App to control the Appliance. If you disagree with our Privacy Policy and User Agreement, such features will be unavailable. However, you can still use the basic features of this appliance for manual operation.

Network Interface Information

Name	Description
Wi-Fi*	Facilitate data transfer between the app and the robot, enabling control of the robot through the app.
ECOVACS HOME App	ECOVACS products offer smart functions such as network setup, mapping, and cleaning mode selection (specific to each product). To utilize these features, users need to download and use the official ECOVACS HOME App.

* The DEEBOT series robotic vacuums are designed for domestic cleaning scenarios. A home Wi-Fi network is required for operation, and anti-DDOS protection needs to be configured by users through route settings.

7 Power on and Charge DEEBOT

Use the ECOVACS HOME App or press  on the robot, to allow the robot to dock for charging.



Note:

- The robot cannot charge when it is powered off.
- When the robot is not in use, keep it powered on and charging.
- It is recommended to start cleaning from the station. Do not move the station while cleaning.

8 Operate DEEBOT

1. Start Mapping

When creating a map for the first time, please follow the robot to help with some minor issues.

The robot may get stuck under furniture. Please refer to the following solutions:


- ① Raise the low-sitting furniture if possible;
- ② Cover the bottom of the furniture;
- ③ Set up a virtual boundary via the App.

The robot may struggle with carpets, preventing entry for mapping purposes. Address this issue as follows:

Before mapping, remove the mopping pad assembly to allow the robot to enter carpeted rooms for mapping.

2. Start Cleaning

- The robot automatically returns to the station for dust collection and mop washing, requiring no manual intervention.
- The robot detects floor types during cleaning and automatically avoids carpets. For optimal results, do not use the robot on carpets. It is recommended that carpets be folded up during cleaning.


Please ensure that the robot is in the station and is fully charged before cleaning for the first time. Press  on the robot to start. You can also use the ECOVACS HOME App to start.




Note:

- Do not frequently remove washable mopping pads.
- Do not scratch the mopping pad plates with a rag or other objects.
- Replace the mopping pads in time as prompted by the App. Explore more accessories in the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.


3. Pause

Press  on the robot to pause it while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App to pause the robot.

4. Wake Up

After pausing for a while, all indicator lights on the robot will go out. To wake up the robot, press .

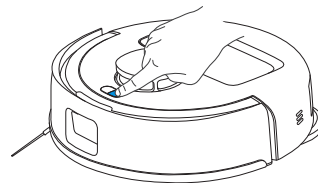
5. Back to Station

Use the ECOVACS HOME App to recall the robot or press the  button on the robot to allow the robot to dock for charging.



6. Deep Sleep Mode

The robot will enter deep sleep mode if it stays outside the station for about 5h to protect the battery. Try restarting the robot to reactivate it.



REGULAR MAINTENANCE

1 Maintenance Frequency

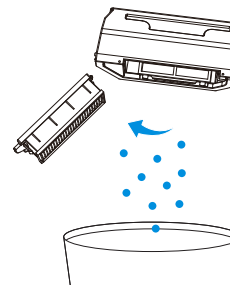
To keep the robot running at peak performance, perform maintenance and replace parts at the following frequencies:

Robot Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Mopping Pad	/	Every 1-2 months
Dust Bag	/	When App prompts
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Main Brush	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
Line Laser Sensor Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on DEEBOT Charging Contacts on OMNI Station Navigation Module	Approx. every month	/
Integrated Water Tank	Every month	/
Dust Collection Cabin	Every month	/
Body and Bottom of the Station	Every month	/

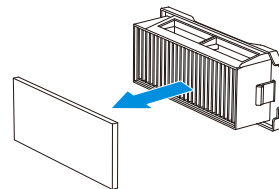
Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

2 Maintain Dust Box and Filter

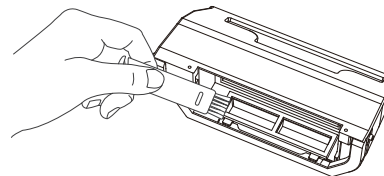
1. Open the dust box cover and empty the box.



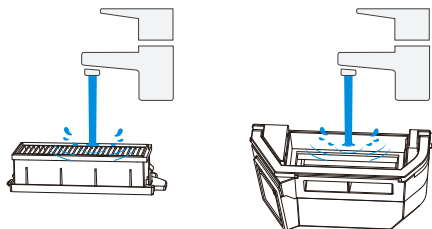
2. Open the filter net and remove the filter



3. Clean the dust from both sides of the filter net.



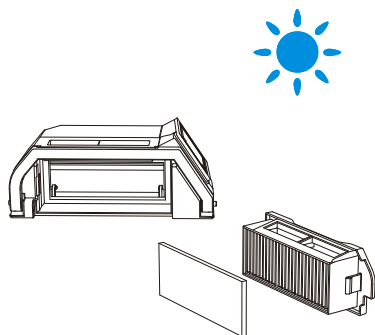
4. Rinse the dust box and filter with water and shake off the water droplets.



Note:

- Please rinse the filter with water as shown.
- Do not use fingers or a brush to clean the filter.

5. Air dry

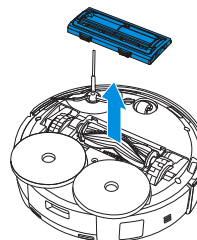


Note: Completely dry the filter before use.

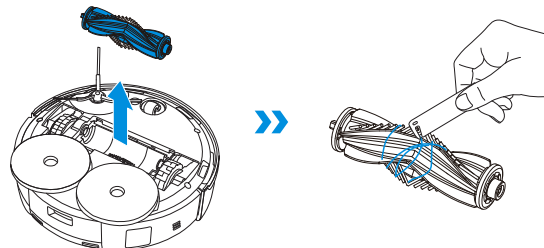
3 Maintain Main Brush and Side Brush

Clean the Main Brush

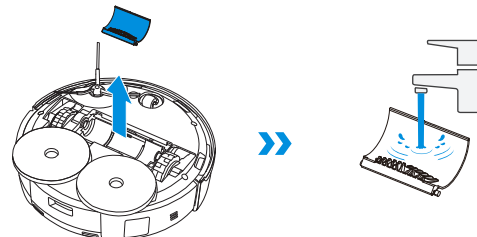
1. Open the cover.



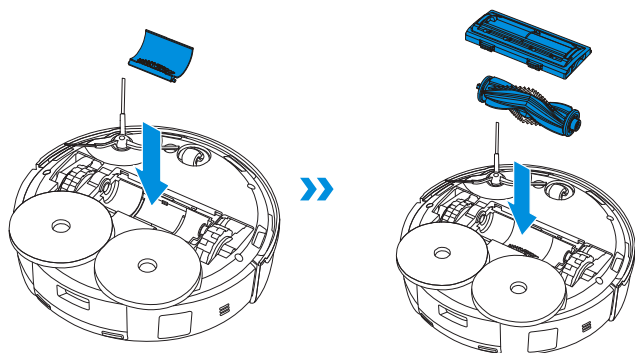
2. Remove and clean the main brush.



3. Remove the brush comb, clean it, then wipe it dry.

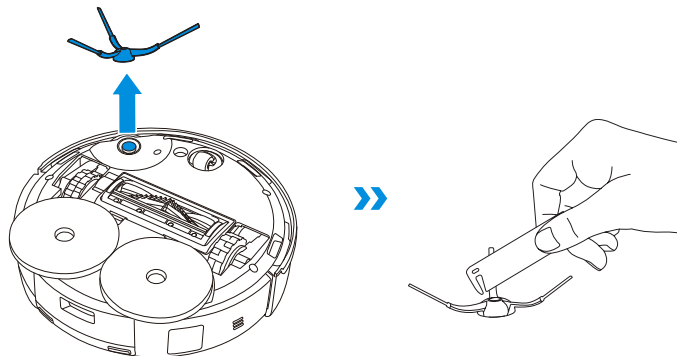


4. Install the brush comb, the main brush and the main brush cover.



Clean the Side Brush

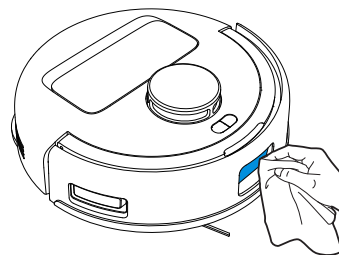
Remove and clean the side brush.



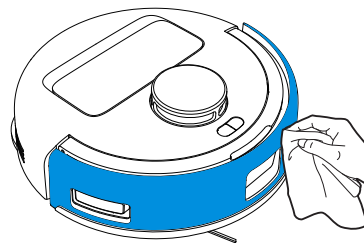
Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

4 Maintain Other Components

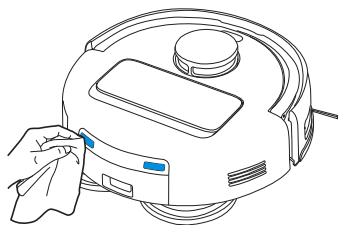
Clean the sensor window



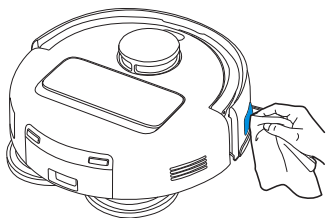
Clean the bumper



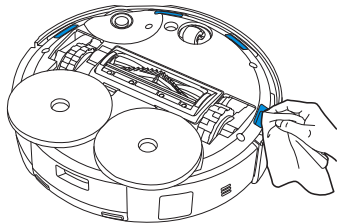
Clean the charging contacts



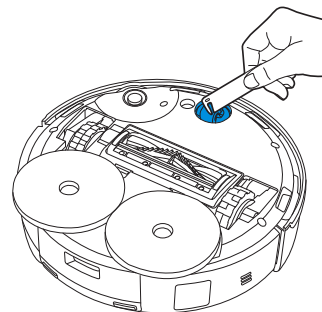
Clean the edge sensor



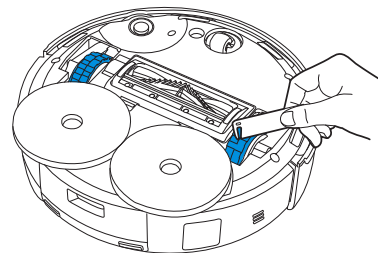
Clean the anti-drop sensor



Clean the universal wheel



Clean the driving wheels

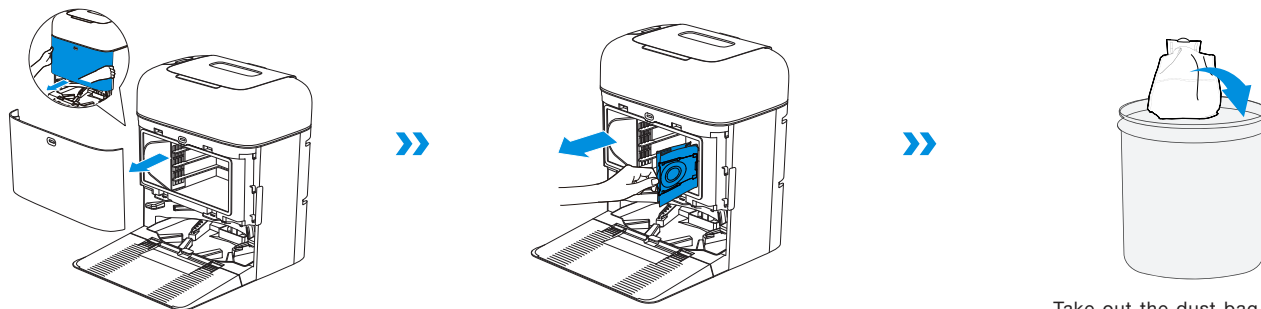


Note:

- Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.
- Wipe the components with a clean, dry cloth. Never use a wet cloth. Do not use cleaning sprays or detergents.
- Charging contacts contain sensitive electronic components. Clean them with a dry cloth. Do not use a wet cloth to prevent water damage.

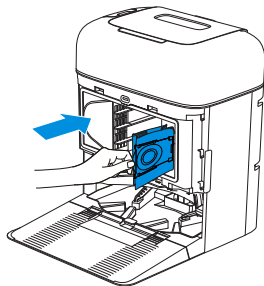
5 Maintain Dust Box

1. Discard the dust bag.

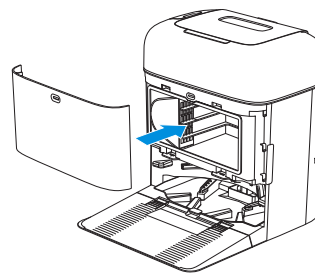


Take out the dust bag by lifting the handle to prevent dust leakage.

2. Clean the dust collection cabin with a dry cloth and put a new dust bag in.

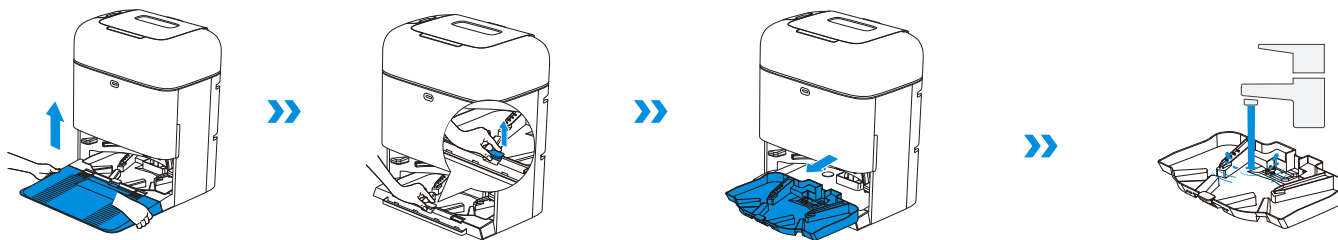


3. Insert the top of the dust collection cabin cover into the groove, and press it down to ensure it is closed.

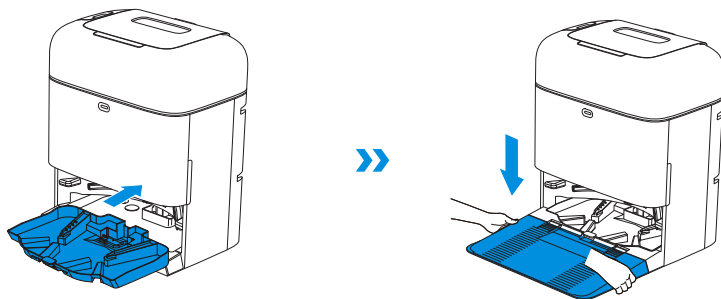


6 Maintain Mop Washing Tray

1. Take off the base and the mop washing tray and clean them.




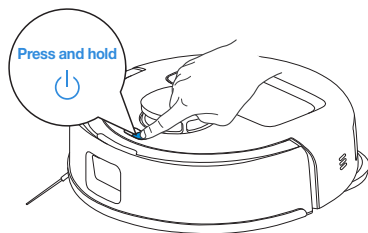
2. Install the cleaned base and mop washing tray.




Note: Please install the mop washing tray properly for smooth operation.

7 Storage

Please fully charge and power off the robot before storage. Place the robot back at the station before pressing and holding  to power off the robot. Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharging.





 The robot cannot be charged when it is powered off.

- When the robot is not working, it is recommended to keep it powered on and charging.
- If the battery is over-discharged or not used for a long time, the robot may not be able to be charged. Please contact Customer Care for help. Do not disassemble it by yourself.



TROUBLESHOOTING

If you encounter the following during appliance use, please refer to the table below for solutions.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
1	The robot cannot connect with the ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi name or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		The robot is not within Wi-Fi signal coverage.	Make sure the robot is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the router as possible.
		The robot is not in the configuration state.	Make sure the robot is connected to the power supply and turned on. Open the cover, and press the RESET button. The robot will enter the configuration state when you hear a voice prompt.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	1. Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like !@#& ¥%^. 2. Do not use a 5 Ghz network.
		Incorrect App installed.	Please download and install the ECOVACS HOME App.
		Not using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.	The robot does not support 5 GHz networks. Please use a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
2	The map is lost.	The map may be lost if you move the robot when it is cleaning.	Move the robot to the front of the station to restore the map. Find the stored map in Map Management and tap " Use This Map " to restore it. If this problem persists, please restart mapping.
		Moving the robot when it is cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, try not to move the robot.
		Auto cleaning is not complete.	Make sure the robot automatically returns to the station after cleaning.
3	Unable to create the furniture map in the App.	Moving the robot when cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move the robot.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure that the robot automatically returns to the station after cleaning.
4	The side brush fell off.	The side brush is not properly installed.	For proper installation, make sure you hear a "click" when installing the side brush.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
5	No signal found. The robot cannot return to the station.	The station is not properly placed.	Place the station properly according to the instructions in the [Power on and Charge DEEBOT] section.
		The station is out of power or moved.	Check whether the station is connected to a power supply. Do not move the station.
		The robot did not start cleaning from the station.	It is recommended that the robot start cleaning from the station.
		The charging route is blocked. For example, the door of the room the station is in is closed.	Keep the charging route clear of obstructions.
6	The robot returns to the station before finishing cleaning.	The room is too large and the robot needs to return to the station for recharge.	Please enable Auto Resume. For more details, please follow the instructions on the app.
		The robot is unable to reach certain areas blocked by furniture or barriers.	Tidy up the area to be cleaned by putting furniture and small objects in proper places.
7	The robot cannot charge.	The robot is not switched ON.	Press and hold the  on the robot to activate it before charging.
		Charging contacts on the robot are not connected to those on the station.	Ensure the robot's charging contacts are connected to the station and  is flashing. Check whether the charging contacts on the robot and the station are dirty. Please clean them according to the [REGULAR MAINTENANCE] sections.
		The station is not connected to a power supply.	Make sure the station is connected to a power supply.
		The base is not properly installed.	Please refer to the [Quick Start] section to install it properly.
		The battery will be over-discharged if the robot is not used for a long time.	It is recommended to regularly use the robot. If the battery cannot be charged because it has not been used for a long time, please contact customer care for help.
8	Loud noises during cleaning.	The main brush/side brush is entangled, or the dust box/filter is blocked.	It is recommended to clean the main brush, side brush, dust box, filter, etc. regularly.
		The robot is in max mode.	Switch to standard mode.
9	The robot gets stuck while working and stops.	The robot is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	The robot will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove the obstacles and restart.
		The robot might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
		The robot is stuck in a narrow area.	Tidy up your home, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
10	The robot encounters issues like a disorderly route, biased movement, repeated passes over the same spots, and missing small areas. (However, if the robot temporarily misses a large area, it automatically returns to make sure it is thoroughly cleaned.)	Objects such as wires and slippers on the ground affect the robot's normal operation.	Before cleaning, please tidy up scattered wires, slippers, and other objects on the ground as much as possible. If there are any missing areas during cleaning, the robot will return to ensure they are thoroughly cleaned. Please do not intervene (such as moving the robot or blocking its route).
		The driving wheels may slip on the ground when the robot climbs steps, thresholds, and door bars, affecting its ability to navigate the entire house environment.	It is recommended to close the door of the affected area and clean the area separately. After cleaning, the robot will return to its starting location. Please feel assured to use this method.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the driving wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
		Due to variations in home environments, some areas cannot be cleaned.	When the vacuum and mopping mode is enabled, avoid carpeted areas as they hinder entry. Fold carpets or remove the mopping pad assembly before cleaning.
11	Remote control is delayed.	Weak Wi-Fi signal, slowing down video loading.	It is recommended to use the robot in an area with a good Wi-Fi signal.
12	The robot does not empty the dust box after returning to the station.	The dust collection cabin is not closed.	Please close the dust collection cabin.
		The Auto-Empty function has not been turned on in the ECOVACS HOME App.	Turn on the auto-empty feature in the ECOVACS HOME App.
		The dust bag is not installed in the station.	Install the dust bag, and close the dust collection cabin.
		Manually moving the robot back to the station might not trigger the auto-empty feature.	It is recommended to let the robot return to the station on its own. Please do not move it manually.
		In Do Not Disturb mode, the robot will not empty the dust box after returning to the station.	Cancel Do Not Disturb mode in the ECOVACS HOME App or manually start dust emptying.
If the above causes have been ruled out, it may be due to an abnormality in station components.	Please contact customer care for help.		
13	The robot fails to empty the dust box	The OMNI station detects a decrease in empty efficiency.	Replace the dust bag according to the [REGULAR MAINTENANCE] section and close the dust collection cabin. If the dust bag is not full, you can take it out and put it back in.
		The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust box and remove foreign objects from the dust disposal port.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
14	The inner side of the dust collection cabin is dirty.	Fine particles are absorbed in the inner side of the dust collection cabin through the dust bag.	Clean the inner side of the dust collection cabin.
		The dust bag is broken.	Check and replace the dust bag.
15	Dust leaks when the robot is working.	The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust box and remove foreign objects from the dust disposal port.
16	The mopping pad plates cannot rotate.	The mopping pad plates are not properly installed.	Install the mopping pad plates properly. Press the mopping pad assembly into the mounting slots for mopping pad assembly until you hear a "click" .
		The mopping pad plates are blocked by foreign objects.	Please remove foreign objects.
17	The driving wheels are jammed.	The driving wheels are entangled or jammed by foreign objects.	Please rotate and press the driving wheels to check for and remove any foreign objects that are entangled or jammed. If this problem persists, please contact customer care for help.
18	The water in the mop washing tray is full and cannot be drained. A voice prompts that the mop washing tray is full.	The integrated water tank is not properly installed.	Gently press the integrated water tank down to ensure it is properly installed.
		The dirty water tank's cover is not tightly sealed.	Ensure the dirty water tank's cover is tightly sealed.
		The station cannot drain water normally.	Press and hold  to see if the station drains water normally. If the problem occurs during the cleaning process for mopping pads, end the task via the App, and then press and hold  to see whether the station drains water properly. If water is successfully drained, wipe the water overflow sensor of the mop washing tray dry. If the Station fails to drain water, check between the dirty water tank and the station for foreign objects and remove them.
		The suction port of the mop washing tray is blocked by foreign objects.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the mop washing tray.
		The mop washing tray is dirty.	Take out the mop washing tray and rinse it clean with water.
		If there is no water in the detachable tray, check if the float is stuck and fails to lower it to its correct position.	Take out the mop washing tray and place the float in its correct position.
		The voice prompt still exists after trying the above solutions.	Unplug the station and plug it in again. If this problem persists, please contact customer care for help.
19	The mopping pad plates are malfunctioning.	The mopping pad plates are entangled or jammed by foreign objects.	Please remove foreign objects.
		The mopping pad plates fell off.	Reinstall the mopping pad plates and make sure you hear a "click" indicating the mopping pad plates are properly installed.

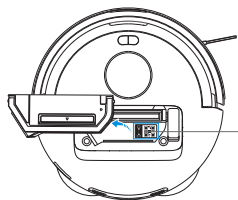
TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	DJX11
Rated Input	20 V === 2 A
Charging Time	About 4 h
Station Model	CH24B7
Rated Input	100 V \sim 50-60 Hz
Rated Output	20 V === 2 A
Rated Input Current (Charging)	0.5 A
Power (Emptying)	2.6 A
Power(Drying)	1.0 A
Frequency bands	2400-2483.5 MHz
Networked Standby Power	Less than 2.00 W

Output power of the wireless module is less than 100mW.

Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.

Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com>.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.

No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.